費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（費用進行基準を採用した業務はありません）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計額		892,929,236	

②　平成22年度交付分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	3,165,641,338	①業務達成基準を採用した業務：研究事業 ②当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：3,223,205,410円 （人件費：1,624,976,459円、経費：1,598,116,789円、財務費用：112,162円） イ）自己収入に係る収益計上額：65,103,638円 ウ）たな卸資産の取得額：7,539,566円 エ）固定資産の取得額：348,463,916円 （工具器具備品：206,600,516円、建設仮勘定：141,863,400円） ③運営費交付金収益化額の積算根拠 業務の達成度に応じ、財源として予定されていた運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	206,600,516	
	建設仮勘定見返運営費交付金	141,863,400	
	計	3,514,105,254	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	966,107,814	①期間進行基準を採用した業務：上記業務達成基準を採用した業務以外のすべての業務 ②当該業務に関する損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：941,530,094円 （人件費：354,791,118円、経費：586,738,976円） イ）自己収入に係る収益計上額：283,690円 ウ）固定資産の取得額：174,450,186円 （建物：92,689,869円、その他無形固定資産41,928,269円、その他：39,832,048円） ③運営費交付金収益化額の積算根拠 中期計画の予定どおりに業務が進行したので、当該業務に対応する期間の運営費交付金の計画額の全額を収益化
	資産見返運営費交付金	171,692,838	
	建設仮勘定見返運営費交付金	920,000	
	工業所有権仮勘定見返運営費交付金	1,837,348	
	計	1,140,558,000	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—（費用進行基準を採用した業務はありません）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計額		4,654,663,254	